

栃木県埋蔵文化財 センターだより

C O N T E N T S

- 埋蔵文化財センターが実施した発掘調査から
愛宕塚古墳
西高椅遺跡
前畑遺跡
- 市町教育委員会が実施した発掘調査から

- 落内遺跡（下野市）
○平成 27 年度 発掘調査報告会を開催しました！
○まいぶん専門職員のいま気になるモノ
○常設展示室から
○平成 28 年度 栃木県内の埋蔵文化財イベント一覧表

発行 平成 28 年 8 月 2 日
栃木県教育委員会
宇都宮市塙田 1-1-20
電話 028-623-3425
編集 (公財) とちぎ未来づくり財団
埋蔵文化財センター
下野市紫 4 7 4
TEL 0285-44-8441 (日曜日) (代表)
0285-43-1971 (月～金) (資料普及課)
FAX 0285-44-8445
URL <http://www.maibun.or.jp>

2016
8月



フランス人を 魅了した微笑み

とちぎ発掘イッピン図鑑

2012 年、フランスのパリ日本文化会館で
開催された「笑いの日本美術史－縄文から 19
世紀まで－」展の冒頭に飾られた「にっこり微
笑む縄文時代の土偶」。荻ノ平遺跡（高根沢町）
から見つかりました。

多くのパリジャン・パリジェンヌに届けた
約 3,800 年前の笑顔は、今、常設展示室で微
笑み続けています。 (実際の大きさは 9.7 cm)

愛宕塚古墳

(下野市国分寺)

埋蔵文化財センターが実施した発掘調査から

馬飾りの金具

玄室

石の門

落ちた天井石

側壁

羨道

馬飾りの金具

0 約10cm
※縮小写真のため

↑愛宕塚古墳石室の底からは、馬の飾りが見つかりました。

←愛宕塚古墳の石室は壊され、天井は落ちています。左の切石が凝灰岩を組んだ門。切石と切石の間の出入り口幅は約70cm。

栃木県では、重要遺跡などの範囲や状況を確認するための調査を行っています。

愛宕塚古墳の発掘調査は、平成24年度から進められ、平成27年度、ついに、古墳で最も重要な石室の調査を行いました。

石室は、前方部の南側に造られた横穴式石室で、石を使って部屋を設け、埋葬のあとには入口をふさぐ構造です。

今回の調査では、死者を安置した部屋（玄室）と、その前にもう一部屋を設けた複数の部屋（複室構造）であることが判明し、石室の門の

前につくられた通路（羨道）と、石室へ向かうための通路（墓道）を確認しました。石室両側の壁は、川原石を積み、入口には方形に切り出した凝灰岩を組んだ門がありました。また、天井に渡してあった石は落ち込み、石室は壊れていました。

しかし、石室の中からは、死者に供えた土器や、金メッキした銅製（金銅製）の馬飾りなどが見つかり、古墳の大きさから推測されたとおり、勢力を誇った豪族の墓であることがわかりました。

埋蔵文化財センターが実施した発掘調査から

西高椅遺跡（小山市梁）

平成 25 年から古墳群の発掘調査を行っています。これまで 59 基の古墳を調査しましたが、そのほとんどは土を盛った高塚が削りとられ、死体を埋葬した部分（埋葬施設）も壊されていました。

調査地区の一番南にある直径 28m の 50 号墳も、古墳中央にあるはずの埋葬施設はなくなっていました。

ところが、古墳の東端で、土の色が違う長方形の場所を見つけました。慎重に掘っていくと、幅 50 cm、高さ 40 cm、長さ 3m の箱形の木棺を粘土で覆った第二の埋葬施設であることがわかりました（写真の人が入っているところ）。

木棺は腐ってなくなっていました。が、棺の底からは、大小の鉄刀 3 本、鉄製のヤジリ（鉄鏟）、ベルトの金具などが出土しました。土に含まれる火山灰や刀の特徴から 7 世紀はじめのころに埋葬されたものと考えられます。



埋葬のイメージ

西高椅遺跡 50 号古墳の状況から、埋葬状態を復元したところ。



鉄刀

鉄刀

ベルトの金具

鉄刀

西高椅遺跡 50 号古墳に
入れられた鉄の刀と鏟・
ベルト金具。

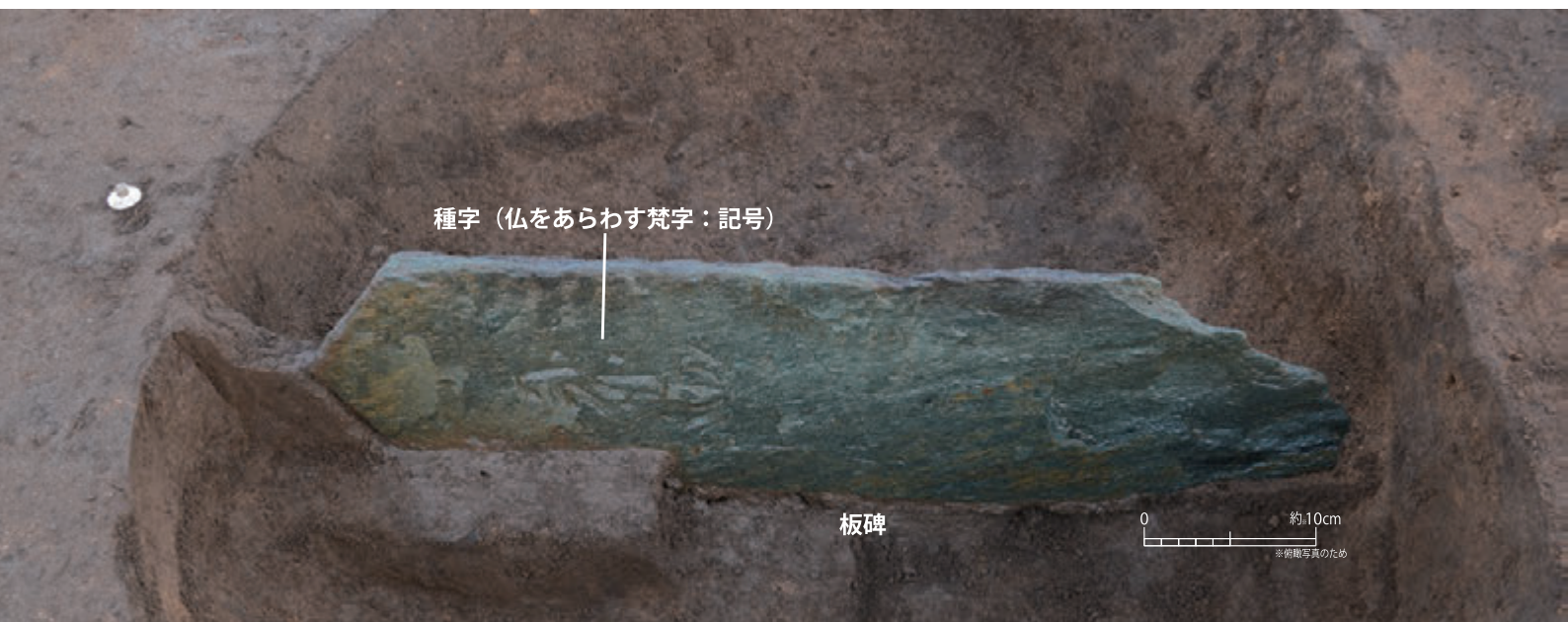
埋蔵文化財センターが実施した発掘調査から

前畑遺跡 (小山市南飯田)

農業基盤整備事業により、平成26年度から調査を進め、既に約12,000 m²の発掘調査が終了しています。これまで、旧石器時代から中・近世の各時代ごとに、さまざまな土地の利用の痕跡や、使用した道具などが発見されています。

特に、この土地が利用されたのは14世紀でした。幅2m、深さ1.3m、長さ74mの大規模な堀を掘って「コ」の字形にまわした区画の中からは、鎌倉時代や室町時代の墓や貯蔵庫の説がある地下室（地下式坑）14基、井戸跡31本、墓と考えられる方形や長方形の穴450基ほどが密集した状態で発見されました。

この区画から見つかった土器などの遺物は、いろりの上にぶらさげて使用した土鍋（内耳土器）やカワラケ、陶磁器が大半を占めます。しかし、数は少ないのですが、中国から運ばれてきた青磁の破片や、石製の供養塔（板碑）も発見されました。特に板碑には「正和二年」（西暦1313年）と「建武5年」（1338年）の年号が彫り込まれており、注目されています。時は、まさに鎌倉幕府の衰退から建武の新政へと、新たな時代への流れの中、この村に生活した人々がいたことを示しています。



市町教育委員会が実施した発掘調査から

落内遺跡（下野市薬師寺）

平成 26・27 年度に、国指定史跡下野薬師寺跡の西塀の外側を約 2,000 m² 発掘調査しました。平成 27 年度の調査では、長方形の平屋建物（掘立柱建物）5～6 棟、
縦穴式建物跡 20 軒以上が確認されました。

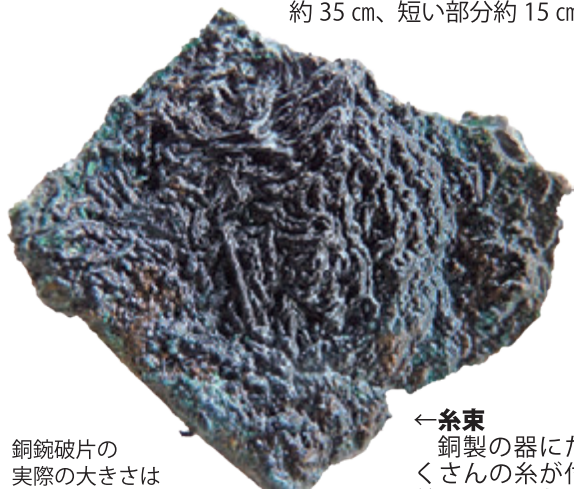
注目すべきは、奈良時代の掘立柱建物です。この調査区で最初につくられた建物は、建物の半分に
庇という張り出し施設を設ける特別なつくりで、全国的に極めて珍しいものです。これは、国指定上
神主・茂原官衙跡（宇都宮市・上三川町）で見つかったものと
重要な建物であったとみられま
そろえて 2 棟以上設置され、
時代初期の役所の建物や配置と似ています。付近からは、7 世紀中頃から後半にかけて使用
された土器が見つかりました。また、10 世紀に火事（焼却された可能性もあり）になった家の
跡から、銅製の器（佐波里碗）が発見され、中には布と糸束の一部が蒸し焼きになってい
ました。近くの家からは古代の鍵（クルリ鍵）も見つかっています。（資料・写真提供 下野市教育委員会）



同じ大きさで、下野薬師寺を建立する前後にあった
す。その後、同じ場所に、南北へ長い建物が東の壁を
それぞれの間は塀でつながられていました。これも奈良
時代初期の役所の建物や配置と似ています。付近からは、7 世紀中頃から後半にかけて使用
された土器が見つかりました。また、10 世紀に火事（焼却された可能性もあり）になった家の
跡から、銅製の器（佐波里碗）が発見され、中には布と糸束の一部が蒸し焼きになってい
ました。近くの家からは古代の鍵（クルリ鍵）も見つかっています。（資料・写真提供 下野市教育委員会）

↑ 古代のクルリ鍵

鍵あなに差し込んで押さえている金具を引っ掛ける仕組みです。L 字の長い部分約 35 cm、短い部分約 15 cm。



銅碗破片の
実際の大きさは
500 円硬貨くらい

← 糸束

銅製の器にたくさんの糸が付着しています。



発掘調査報告会-どき土器がわく湧く-を開催しました！

6月12日、平成27年度の発掘調査報告会を開催しました。昨年度に発掘調査や報告書を作成した5遺跡、担当した考古学専門の職員が、わかりやすく解説しました。また、(公財)とちぎ未来づくり財団が平成25年度から福島県の東日本大震災後の復興・復旧に伴う発掘調査に職員を派遣していることから、これまでの調査成果や課題、製鉄遺跡の研究成果などを福島県文化振興財団の担当者からお話いただきました。当日は96名が参加され、遠く静岡県から来られた方もいらっしゃいました。

プログラム

午前の部	鹿島前遺跡(那珂川町・古墳時代)	発表者	津野 仁
	愛宕塚古墳(下野市・古墳時代)	発表者	津野 仁
	横倉遺跡・横倉戸館古墳群(小山市・縄文時代)	発表者	江原 英
特別報告	東日本大震災復旧・復興の発掘調査と遺跡が語るもの		
	公益財団法人 福島県文化振興財団 遺跡調査部調査課長 吉田秀享氏		
午後の部	岩舟台遺跡(大田原市・古墳時代)	発表者	篠原浩恵
	雀宮宿跡(宇都宮市・江戸時代)	発表者	大木丈夫
発表遺跡ミニ展示 ギャラリートーク			

平成28年6月12日(日) 10:00~15:00

会場 栃木県埋蔵文化財センター 研修室
定員 20名
受付 10:00~14:30
入場料 無料
お申し込みは「まいぶん」まで

発掘調査報告会

どき
わく
湧く

Maibun

特別報告 東日本大震災復旧・復興の発掘調査と遺跡が語るもの
土器製造人 縄文文化の発展と 渡辺 隆雄氏 報告
土器製造人 縄文文化の発展と 渡辺 隆雄氏 報告

(公財)とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター
〒329-0418 栃木県下野市豊4-7-4 番地
電話 (月~金曜日) ☎0285-43-1971 (受付係専用)
(日 曜 日) ☎0285-44-8441 (代)

メールアドレス E-mail: webmaster@maibun.or.jp
ホームページ http://www.maibun.or.jp

栃木県埋蔵文化財センター

まいぶん専門職員の いま気になるモノ

江原 英【整理課副主幹】

専門：縄文時代後・晩期の社会
縄文文化学会などで幅広く活躍

江原さん、最近気になっているモノなに？

そうですね。今、整理している刈沼遺跡の出土品の中に、今から約2,800年前のスゴイ遮光器土偶があります。

なにがスゴイの？

なぜか肩の部分しかないのですが、土偶としては、かなり巨大です。復元すると大きさは50cmくらいで、同じ遺跡の土偶が13cmなので、一目瞭然です。

大きさだけが特徴？

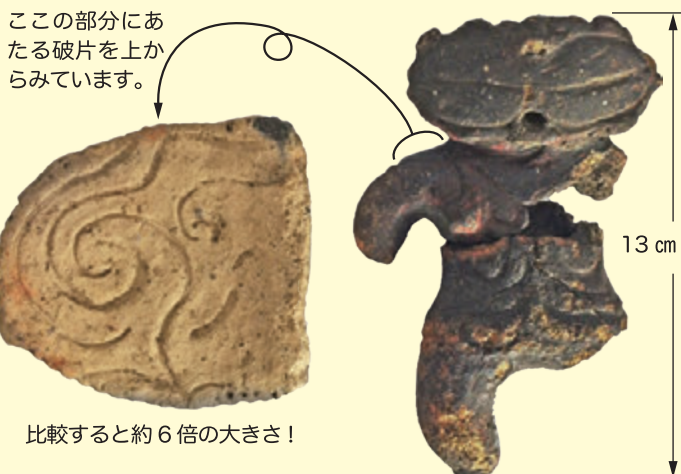
遮光器土偶の流行の中心地は、東北地方なのですが、この土偶は、中が空っぽの作り方をしっかりまねているのに、模様が線だけの関東的になっています。これは、当時、土偶を作るのに、色々な約束事があったかもしれませんが、本場でなくても、大きなものを作れるんだぞという気概を見ているような気がします。

今後、どのような視点で研究を進めていく

のですか？

胴体と頭、腕、足など別づくりの可能性あります。肩の部分の内側には、密着させるときの指のあとが残っています。本場をまねて、どのようにして巨大な土偶を作ったのが、調べていくのが楽しみです。

江原さん、ありがとうございました。



常設展示室に入ると、最初に考古学を簡単に説明するコーナーがあります。今回は、そこからひとつご紹介しましょう。

考古学の研究者は、土の中から出てきた様々な道具（遺物）を見て、「こっちが新しい」や、「いつごろのモノですね」なんて言います。

考古学は、モノから歴史を考える学問なので「この時代に使いましたよ」と書いていなくても、時期がわかるような「ものさし」をつくって

常設展示室から

います。
さきほどの「こっ

ちが新しい」というのは、AよりBが新しいと比較する方法で「相対年代」と言います。

そして「いつごろのモノですね」は「西暦

●●年ごろ」のように、具体的な年代なので「絶対年代」と呼びます。

● ● ● ● ● ●
それでは、相対年代というのは、どうやって比較するのでしょうか。

それには、モノが出てきた時の地層を基にする場合（層位学）と、モノの変化から考え

る方法（型式学）があります。

層位学では、地震などで地層が逆転するようないろんなことがない限り、地下深いモノが古く、地上に近いモノが新しいので、この考えから、モノの出てきた地層で新旧を把握します。

● ● ● ● ● ●
型式学のうち、道具の機能変化に着目した例をあげてみましょう。

写真のどちらも、提瓶という古墳時代後期に水筒のように使われたと考えられる土器です。右の土器は、つり下げるヒモを結ぶための「わっか」が付けられています。ところが、この「わっか」は、時代が新しくなると、ひっかける「カギ」になります。そして、つり下げる使用方法がなくなっても、「わっか」や「カギ」があつた場所に、飾りのような「ボタン」を貼り付け、名残りをとどめています。

● ● ● ● ● ●
型式学では、機能変化以外にも、形や紋様など、さまざまな観察視点から、変化を分析して、新旧を把握しています。

相対年代は、主に文字資料のない時代の研究で用いられています。

今回は絶対年代についてお話ししましょう。



ボタン（瘤）

須恵器提瓶（高さ約24センチ）
高林遺跡（市貝町）

西暦六〇〇年ごろ

相対年代

絶対年代



わっか（環）

西暦五五〇年ごろ

須恵器提瓶（高さ約25センチ）
菅田古墳群（足利市）

平成28年度 栃木県内の埋蔵文化財イベント一覧(8月～12月)

※予定が変更になる場合がありますので、詳細は直接事業主体機関にお問い合わせ下さい。

No.	機関名	事業名	事業内容	開催日	時間	会場	問い合わせ先	
							担当部署名	電話番号
1	埋蔵文化財センター	バックヤードツアー	施設見学及び収蔵庫での出土品の観察	開催日毎日2回	午前の部:10時30分～ 午後の部:2時から	栃木県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター 普及資料課	0285 (43) 1971
2		勾玉づくり	勾玉づくり体験	日曜日	開催時間:午前9時30分～ 午後4時30分 受付は午後3時まで	栃木県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター 普及資料課	0285 (43) 1971
3		特集展示 巡回展「栃木の遺跡」	平成27年度に県内で発掘調査した出土品を展示解説する「発掘調査速報展」	10月中旬～12月上旬	開催時間:午前9時30分～ 午後4時30分 受付は午後4時まで	栃木県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター 普及資料課	0285 (43) 1971
4	栃木県立博物館	気分は縄文デザイナー	プラスチック版に縄文土器の文様等の着色しストラップを作成する。	8月21日(日)	未定	栃木県立博物館	教育広報課	028 (634) 1312
5		巡回展「栃木の遺跡」	平成27年度に県内で発掘調査した出土品を展示解説する「発掘調査速報展」	7月16日(土)～ 9月4日(日)	開催時間:午前9時30分～ 午後5時 受付は午後4時30分まで	栃木県立博物館	教育広報課	028 (634) 1312
6	宇都宮市	企画展 「うつのみやの耳飾展」	県内出土の耳飾りを展示・解説する	7月26日(火)～ 8月31日(水)	開催時間:午前9時～午後5時	うつのみや遺跡の広場	宇都宮市教育委員会 文化課文化財保護G	028 (632) 2766
7	栃木市	企画展示	市役所4階企画展示	7月5日(火)～ 9月30(金)	午前8時30分～午後5時15分	栃木市役所4階	栃木市教育委員会 文化課	0282 (21) 2498
8	小山市	琵琶塚古墳・摩利支天塚古墳整備事業	講演会・シンポジウム	10月30日(日)	午後	小山市立中央市民会館 地下2階 ホール	小山市教育委員会 生涯学習課 文化財係	0285 (22) 9669
9	真岡市	歴史教室	講演会 演題:勝道上人(仮) 講師:橋本澄朗氏	9月10日(土)	午後1時30分～午後4時	真岡市青年女性会館	真岡市教育委員会 文化課	0285 (83) 7731
10		歴史教室	講演会 演題:未定(古墳関係を予定) 講師:君島利行氏	11月5日(土)	午後1時30分～午後4時	真岡市青年女性会館	真岡市教育委員会 文化課	0285 (83) 7731
11	大田原市	なつ なす 風土記 古代アドベンチャー	縄文土器の拓本でしおり作り	7月23日(土)～ 8月28日(日)	開催時間:午前9時～午後5時	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	0287 (98) 3322
12		なつ なす 風土記 古代アドベンチャー	侍塚古墳群ツアー	7月23日(土) 8月28日(日)	各回とも午後1時30分	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	0287 (98) 3322
13		ユネスコ子供学級	福島県埋蔵文化財センター まほろん見学	未定(8月)	未定	福島県埋蔵文化財センター まほろん	大田原市文化振興課	0287 (98) 3768
14	大田原市 那珂川町	第24回特別展 那須の歴史をひもとくⅡ 「中世那須のあけぼの」	那須の中世前期をテーマとした展示会	9月17日(土)～ 11月20日(日)	1 開催時間:午前9時～午後5時 2 開催時間:午前9時30分～ 午後5時(入館は午後4時30分まで)	1 大田原市 なす風土記の丘湯津上資料館 2 那珂川町なす風土記の丘資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
15		第24回特別展展示解説	展示解説	9月18日(日) 10月15日(土) 11月19日(土)	各回とも午後1時30分～	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
16		第24回特別展史跡見学会	足利市方面の古代・中世の 遺跡をバスでめぐる見学会	10月1日(土)	午前8時～午後5時	足利市方面	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
17		第24回特別展記念 シンポジウム	講師:橋口定志氏(としま遺跡調査 会理事)、橋本澄朗氏(栃木県考 古学会会長)	10月30日(日)	午前 10 時～	那珂川町ふるさと館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
18		第24回特別展史跡ウォーク	那須神田城周辺を歩く見学会	11月12日(土)	午前9時～午後3時	那須神田城周辺	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
19	矢板市	ドキドキ土器づくり体験	土器づくり体験	8月7日(日)	午前 9 時～	矢板市立郷土資料館	矢板市生涯学習課	0287 (43) 6218
20	那須烏山市	(仮)長者ヶ平官衙遺跡展	国史跡である長者ヶ平官衙遺跡を知ってもらうための展示	11月頃	未定	未定	那須烏山市教育委員会 文化振興課 文化財担当	0287 (88) 6224
21	下野市	定期歴史講座	しもつけ風土記の丘資料館周辺の 文化財について、担当者等による 解説を行う	8月28日、9月25日、10月16日 11月20日、12月18日	午後1時30分～3時30分	しもつけ風土記の丘資料館	しもつけ 風土記の丘資料館	0285 (44) 5049
22		下野薬師寺歴史館 開館15周年記念講演会	講師:永村眞氏(仮題)「文献 資料からみた下野薬師寺」	11月23日(水・祝)	午後1時30分～3時	薬師寺コミュニティセンター 多目的室	下野市教育委員会 生涯学習文化課 文化財グループ	0285 (32) 8919
23	上三川町	文化財普及啓発事業	役場町民ホールにて、町内の 遺跡から出土した遺物を展示	通年	午前8時30分～午後5時15分	上三川町役場町民ホール	上三川町教育委員会 生涯学習課 生涯学習係	0285 (56) 9159
24	市貝町	特別展『発掘・寺平遺跡』	寺平遺跡の出土物を資料館で 展示	10月1日(土)～ 11月13日(日)	午前9時30分～午後7時	市貝町立歴史民俗資料館	市貝町教育委員会 生涯学習課 文化担当	0285 (68) 0020
25		講話『寺平遺跡の重要性』①	寺平遺跡の重要性を講話で 紹介する	10月15日(土)	午後2時～3時	市貝町立図書館2階 企画研修室	市貝町教育委員会 生涯学習課 文化担当	0285 (68) 0020
26		講話『寺平遺跡の重要性』②	寺平遺跡の重要性を講話で 紹介する	10月29日(土)	午後1時～3時	市貝町町民ホール	市貝町教育委員会 生涯学習課 文化担当	0285 (68) 0020
27		土器作り体験	二日かけて土器を製作する	10月9日(日) 11月13日(日)	午前9時30分～12時 午前9時～12時	未定	市貝町教育委員会 生涯学習課 文化担当	0285 (68) 0020
28	高根沢町	縄文道場	アンギン編み	10月30日(日)	午前10時～12時	高根沢町歴史民俗資料館	高根沢町教育委員会 生涯学習課	028 (675) 3175
29	那珂川町	特別陳列 えと展	干支に関わる展示を行う	12月10日(土)～ 1月15日(日)	午前9時30分～午後5時 入館は午後4時30分まで	那珂川町なす風土記の丘 資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
30		なす風土記講座	那須の歴史について解説する	5月～2月の全8回	午後1時30分～3時 ※第5回は午前10時、 第8回は午後1時から	那珂川町なす風土記の丘 資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
31		土器づくり	土器づくりを行う	成形 7月2日(土) 焼成 8月6日(土)	成形 午前9時30分～12時 焼成 午前9時30分～午後3時	那珂川町なす風土記の丘 資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
32		第20回企画展 寺社からみる那珂川町の歴史	町内の寺社から那珂川町の 歴史を探る	7月30日(土)～ 9月4日(日)	午前9時30分～午後5時 入館は午後4時30分まで	那珂川町馬頭郷土資料館	那珂川町馬頭郷土資料館	0287 (92) 1103

埋蔵文化財センターの見学・体験学習・職場体験等のお申し込みは、
ホームページ <http://www.maibun.or.jp> をご覧のうえ普及資料課まで
月～金 TEL 0285-43-1971(直通) 日曜日 0285-44-8441(代表)

